



江部

知らなくて  
どうする!?

浜松の大学に通い“地域共創”を学ぶ2人がお届けします!

# 遠州織物の魅力!



河合

大河ドラマで盛り上がる今年こそ知るべき「**繊維のまち**」!!

家康公騎馬武者行列の「ゆかた行列」をきっかけに、遠州地域の繊維産業に興味を持った私たち。長い歴史があり、調べるほどに奥が深く、関わる方の熱い思いを知りました。海外有名ブランドにも使われる遠州織物。実は身近な存在で、一般の方でも手軽に使える製品があるんです!皆さんに伝えたい「遠州織物の魅力」を学生目線でお届けします!

## 知る

10社以上の遠州織物の生地を展示  
「みて」「きいて」「ふれて」みて!



以前は捨てていた布の端を「布みみ」と名付け、SDGsの取り組みとして販売。手織り機で織り込んだり、リボンにしたり、スワップやリースの装飾に使うのもおすすめ。Creema等で販売中!



遠州織物工業協同組合  
河合 あかねさん

三河・泉州に並ぶ「三大綿織物産地」の一つである遠州。遠州織物とは、遠州地方で織られている織物の総称で、特定の製織方法や柄は決められていません。高品質で多種多様な織物が国内外で高く評価され、豊かな風合いが特徴です。技術力も高く、難しいとされる麻の生地も織ることができます! 会館では遠州織物の生地や作品を展示・紹介しています。



### 遠州織物会館

浜松市中区山下町1-2(遠州織物会館3階)  
🕒10:00~12:00、13:00~16:00(要予約)  
📞土・日曜、祝日 ☎053-478-0121

Instagramで  
イベント情報等を発信中



## 見る 買う

遠州織物産地で「麻の織布」といえばココ!  
糸を巻き、織り上げる**高品質な麻織物**



工場で経糸を巻き、織物を織っています。生地は大量生産ではなく、ほぼ一点物!



工場併設の売店で、生地の販売のほか、シャツやストール、バッグ、ハンカチなどの製品を販売。



代表社員  
加藤 寿佳さん

丸三織物のこだわりは「麻」!主に賃加工を行っていますが、手芸が趣味の方へ向けて、1着分の生地も販売。1部分だけ色が異なる珍しい布などもあり、何を作ろうか考えながら買うのも楽しいのでは。また、工場見学(要予約)も可能です。訪れたら、織っている様子や職人が作る一点ものに魅了されること間違いなし! 製品は近くにあるコーデロイハウスでも販売中。



### 丸三織物合資会社

磐田市福田5495 ☎8:00~18:00  
🕒土・日曜、祝日 ☎0538-58-2093  
※見学時に着生地や製品購入可能。オンラインショップあり。



## 訪れる

産業発展、縁結び、技術向上の願いが叶う!  
機織りの神様を祀る**遠州織物の聖地**



平成19年に浜松市指定有形民俗文化財に指定された「織殿」(左)と織殿にある昔ながらの織機(右)



天棚機姫命の絵馬



宮司  
鈴木 栄男さん  
遠州織物を使ったお守りやおみくじなどを頒布中

1155年創建の初生衣神社。「機織りの神様」とされる天棚機姫命を祀り、衣に携わる人々に信仰されてきました。毎年4月に行われる「おんぞ祭り」は、令和2年に浜松市無形民俗文化財に認定! 繊維関係者や地域の方々に愛されています。境内には浜松市指定有形民俗文化財の織殿があり、織機を納めています。織殿は老朽化のため修復が必要で、現在ご奉賛も募集中!



### うぶぎぬ 初生衣神社

浜松市北区三ヶ日町岡本696 ☎090-4194-0539  
「令和の大造宮御鎮座870年記念事業ご奉賛」を受け付け中。詳細は公式WEBサイトで確認。



## ~遠州織物の歴史~

協力/遠州織物工業協同組合

〈江戸時代中期〉綿花の産地であったことから農家が手織りの綿織物づくりを副業とする。〈明治17年〉遠州地方に紡績工場がつけられる。〈明治中期〉木綿商人が活躍し販路が拡大、遠州の織物は全国に知られる。〈明治29年〉豊田佐吉が小幡力織機を発明。〈明治後期~大正〉磐田市福田地区でコール天・別珍の製造がはじまる。〈大正初期〉「浜松ゆかた」の注染の生産がはじまる。〈昭和8年〉日本の綿布の輸出量が世界1位となる。〈平成3年以降〉景気の後退により、産地の規模が縮小していく。〈平成10年以降〉安価な海外製品が大量流入するなか、業界が一丸となって新製品の開発や販売ルートの拡大を目指す。〈平成20年代〉ファッション業界との連携の強化や衣料以外の分野への進出に取り組む。